

環境基本方針と環境自主行動計画

栗本環境基本方針

私たちは全ての事業活動において、水と大気と生命(いのち)の惑星、地球の環境にこだわったモノづくりに励むため次の活動を進めます。

- (1)効果的な環境保全活動の推進
- (2)法規制等の遵守および環境リスクの排除
- (3)省エネルギー、省資源、廃棄物の削減、リサイクル
- (4)環境調和型製品への移行推進および環境保全機器設備の開発
- (5)社員の教育、啓発
- (6)地域社会への貢献

(制定日:1998年6月2日)

栗本環境自主行動計画

地球温暖化、資源の枯渇、廃棄物の増大など、地球的、地域的環境問題が深刻化する中で、大量生産・大量消費・大量廃棄という経済構造の見直しや、それに伴う企業環境経営、企業生産活動のあり方についての早急な変革が求められている。

このような状況の中において当社もあらゆる活動において環境との調和を一層強化し持続可能な循環型経済社会の構築に貢献していかなばならない。そのために栗本環境委員会および国際環境規格であるISO14001環境マネジメントシステム等の有効かつ効果的活用により環境保全創造活動、環境調和型機器開発等の自主的、積極的な取り組みを推進することが極めて重要である。その認識の下、当面する重要課題である次の項目について自主行動計画を策定し環境行動指針とし、その推進に鋭意努力するものとする。(制定日:2000年2月22日)

重点取り組み項目

1. 地球温暖化対策(CO₂排出抑制)

今後10年間でCO₂排出量(C換算)の3,300t-C削減
(1998年度基準)

- 1)省エネ効果
- 2)コークス使用量の削減効果
- 3)環境機器の供給効果(含 植林効果)

2. ゼロエミッション構想の導入(資源循環型経済社会の実現に向けて)

グリーン購入
LCA設計
環境基準値より余裕の達成
化学物質による環境負荷の低減
企業間ネットワークによる廃棄物の再利用

3. 環境負荷低減技術の集約・環境調和型機器の開発

環境負荷低減技術および機器の開発
キュボラCO₂削減技術開発
土壌汚染浄化システムの開発

4. 環境対応企業としての社内教育と広報活動の推進

社員階層環境教育・社内報「環境コーナー」
環境講演会、研修会
環境リーダーの教育・資格取得支援
環境報告書、環境会計の発表
環境に優しい「エコロベース(超軟式野球)」の導入